



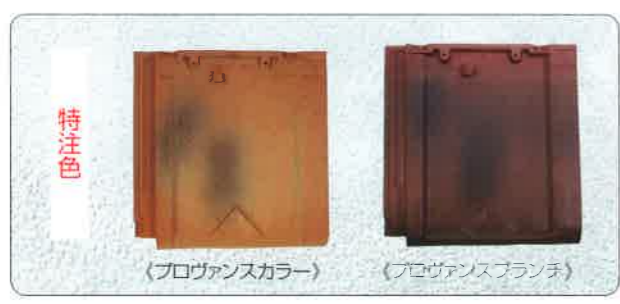
全長	357mm(±4mm)	葺き上がり必要枚数	40枚/坪・12枚/m ²
全巾	345mm(±4mm)	3.3m ² 当たりの重量	約152kg
働き長さ	281mm(±4mm)	1m ² 当たりの重量	約46kg
働き幅	306mm(±4mm)	使用可能勾配	3/10勾配以上
1枚の重量	3.8kg		

標準屋根勾配とその流れ長さ

標準屋根勾配	3.0/10	4.0/10	4.5/10	5.0/10	5.5/10	6.0/10
流れ長さ	4m	8m	10m	12m	15m	17m

注意：これはスーパーセラユーを安心してお使い頂くための標準値です。
 (※働き長さは275~285mmまで施工可能です。)

Super Cera U Colors



安全に関するご注意

- ※粘土瓦の落下・雨漏りの防止等の工事には専門の設計・施工が必要です。粘土瓦の設計及び工事は専門業者にご相談ください。
- ※粘土瓦の強風地域・積雪地域での使用は、特殊な工事が必要な場合があります。このような地域では必ず専門施工業者にご相談ください。
- ※粘土瓦を使った屋根を設計する場合、関連する工事標準仕様書に基づいておこなってください。特殊な設計や工事を行う場合は、専門工事業者にご相談ください。
- ※施工後及び施工中に専門工事業者以外の方が、屋根面に登る事は落下等の可能性があり非常に危険です。また、雨漏り等の原因になる事もありますので、絶対に登らないで下さい。

製品に関するお願い(粘土瓦の特性について)

瓦は天然原料である自然の粘土を原料とした焼成品です。粘土は採取場所により、その成分・性質は微妙に異なり、また同一場所の採取でも全く均一ではありません。このように瓦は原料自体が均質化された工業原料ではなく、自然から生まれた生きた粘土を使うため、それ自体が機械化に向くようできていない為、科学的な管理が難しい焼成品です。日本の瓦は約1400年以上前から作られてきましたが、製造技術・焼成技術が飛躍的に進歩し、大量生産できるようになった現在でも「瓦は天然材料を使った自然素材である」ことをご理解いただき、その特性をあらかじめご承知願います。

■粘土成分の違いや気圧など気象条件による焼成案内雰囲気の変化により、微妙な色ムラが発生している場合があります。■焼きもの特有の若干のネジレや寸法のバラツキがある場合があります。また瓦は重ね合わせて施工していきますので、葺き上げ後に瓦と瓦の間にスキマが発生することがあります。■施工後、日焼けによる色あせやホコリの付着などによる色合いの変化が発生する場合がありますが、屋根材としての品質・性能および耐久性を損なうものではありません。■陶器瓦(釉薬瓦)は貫入(かんにゅう)と呼ばれる表面亀裂が発生する場合がありますが、これは焼き物製品特有の釉薬表面層に発生する亀裂であり、屋根材としての役割を損なうものではありません。■陶器瓦(釉薬瓦)には釉薬にピンホールと呼ばれる小さいへこみや粘土素地の露出が発生する場合があります。釉薬の気泡や粘土に含まれる有機物などが凝縮して発生するものですが、焼きものとして、また屋根材としての品質上の問題は一切ありません。■強風雨時等、瓦の隙間から、しぶきが入る恐れがあります。■立地条件により、瓦表面にコケ等が発生することがあります。これは瓦の表面層に発生しているものであり、屋根材としての品質や性能を損なうものではありません。■切妻部の袖瓦から雨水の水滴が落ちることがあります。これは、野地部に雨水が進入する雨漏りではなく、一般的な現象です。■成型後の乾燥から高温焼成時に素地が収縮する事によって粘土が動き、切れが発生する場合がありますが、強度には問題はありません。■成型時の金型内で粘土が動き、瓦曲面周辺にシワが発生しますが、漏水や強度には問題ございません。■瓦の耐久性を高めるために高温焼成をおこなうと表面は硬く焼結されます。そのため、梱包や輸送時に多少のメカケが混入します。■製品は改良のため予告なく変更する場合があります。

近畿セラミック株式会社

本社及び 〒656-2224 兵庫県淡路市大谷881-8
 本社工場 TEL.0799(64)0631(代) FAX.0799(64)0595

西淡事務所 〒656-0341 兵庫県南あわじ市津井1730
 TEL.0799(38)0311(代) FAX.0799(38)0664

彦山営業所 〒729-0114 広島県福山市柳津町4丁目1-24 TEL.084(934)7288 FAX.084(934)6441
 広島営業所 〒731-0143 広島県広島市安佐南区長楽寺1丁目2番2号 TEL.082(878)3715 FAX.082(878)3725
 大分営業所 〒870-0018 大分県大分市豊後3丁目8-9 TEL.097(532)8163 FAX.097(538)4843
 宮崎営業所 〒880-0125 宮崎県高崎市大字広原4607番6 TEL.0985(30)5622 FAX.0985(30)5633

■特約店

URL: <http://www.kincera.net> 最新情報はホームページをご覧ください。 無断複製禁止
 15.04.20.000



平成14年度 産業・ビジネス部門選定商品

3寸勾配から施工可能な平板瓦
Super Cera U



その瓦の良さは、
 吾輩がいちばん知っている。

防災緩勾配瓦

スーパーセラユー

千年の時を経て進化した、日本の美しい知恵。



脈々と受け継がれた技に、最新のテクノロジーとアイデアを加味し充実の機能を備えたスーパーセラユー。その形状は水流を制御し、あらゆる方向から入り込む雨水の浸入を最大限防止するのに有効です。



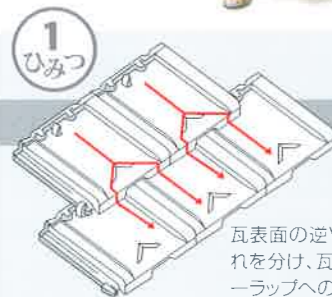
防水機能

抜群の防水機能

スーパーセラユーは、表面を谷のように深く掘り下げたUタイプの平板瓦です。表面に三角形の凸部を設けることで、水の流れを操作し、瓦のつなぎ目からアンダーラップへの雨水の浸入を最小限に抑えます。また、従来よりも高く設定された高さ12mmの水返しが瓦尻からのオーバーフローを完全にシャットアウトします。この画期的な防水機能が3寸勾配という屋根への対応を可能にしました。



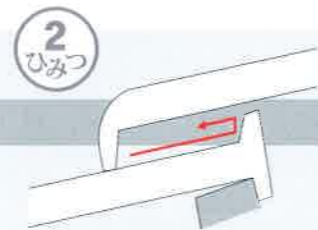
猫が驚いたセラユー3つのひみつ。



1 ひみつ

瓦表面

瓦表面の逆V字の凸部が水の流れを分け、瓦の継ぎ目からアンダーラップへの雨水の流水を防ぐ。



2 ひみつ

断面(垂木方向)

緩勾配屋根で、暴風雨時に雨水が逆流しても、高さ12mmの水返しが野地への雨水の流入を未然に防ぎます。



3 ひみつ

断面(桁方向)

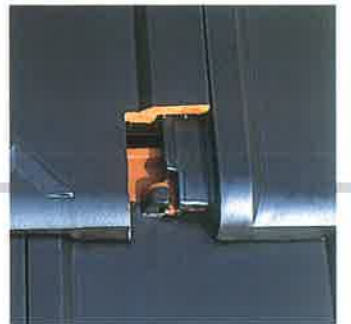
瓦の表面が高低差約10mmの谷形状になっている為に風で雨水が横走りして継ぎ目から流入する恐れはほとんどありません。



防災機能

安心の耐震・耐風機能

施工時に瓦同士がガッチリと組み合わせられますので、緊結材である釘の力の他に、瓦同士の強固な連結力が加わり、耐震・耐風性能の著しい向上に成功しました。このことにより、今まで屋根葺材の天敵とされてきました、台風や地震といった突然の自然災害にも強く、瓦のスレや浮き上がり、飛散の心配のない安心の屋根を提供致します。



防災種勾配瓦 スーパーセラユー 施工例

新銀



プロヴァンスカラー



ブラック



プロヴァンスブランチ



3寸勾配から施工可能な平板瓦

Super Cera U

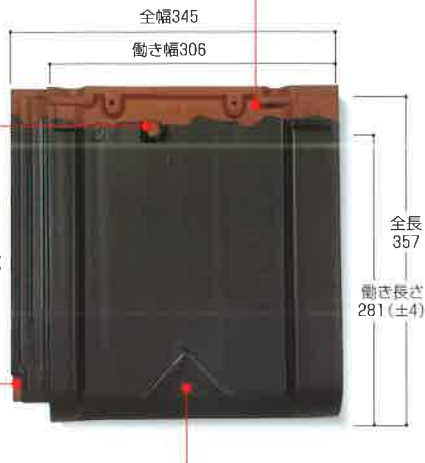
その瓦の良さは、
吾輩がいちばん知っている。



防災緩勾配瓦

スーパーセラユー

■ 防水機能(高い水返し・釘穴)



■ 防災性能

■ 防水機能(水の流れを分ける凸部)

全長	357mm(±4mm)
全巾	345mm(±4mm)
働き長さ	281mm(±4mm)
働き幅	306mm(±4mm)
1枚の重量	3.8kg

葺き上がり必要枚数	40枚/坪・12枚/m ²
3.3m ² 当たりの重量	約152kg
1m ² 当たりの重量	約46kg
使用可能勾配	3/10勾配以上

標準屋根勾配とその流れ長さ

標準屋根勾配	3.0/10	4.0/10	4.5/10	5.0/10	5.5/10	6.0/10
流れ長さ	4m	8m	10m	12m	15m	17m

注意：これはスーパーセラユーを安心してお使い頂くための標準値です。

(※働き長さは275~285mmまで施工可能です。)

Super Cera U Colors



⚠️ 安全に関するご注意

- ※粘土瓦の落下・雨漏りの防止等の工事に専門の設計・施工が必要です。粘土瓦の設計及び工事は専門業者にご相談ください。
- ※粘土瓦の強風地域・積雪地域での使用は、特殊な工事が必要な場合があります。このような地域では必ず専門施工業者にご相談ください。
- ※粘土瓦を使った屋根を設計する場合、関連する工事標準仕様書に基づいておこなってください。特殊な設計や工事を行う場合は、専門工事業者にご相談ください。
- ※施工後及び施工中に専門工事業者以外の方が、屋根面に登る事は落下等の可能性があり非常に危険です。また、雨漏り等の原因になる事もありますので、絶対に登らないで下さい。

⚠️ 製品に関するお願い(粘土瓦の特性について)

瓦は天然原料である自然の粘土を原料とした焼成品です。粘土は採取場所により、その成分・性質は微妙に異なり、また同一場所の採取でも全く均一ではありません。このように瓦は原料自体が均質化された工業原料ではなく、自然から生まれた生きた粘土を使うため、それ自体が機械化に向くようにできていない為、科学的な管理が難しい焼成品です。日本の瓦は約1400年以上前から作られてきましたが、製造技術・焼成技術が飛躍的に進歩し、大量生産できるようになった現在でも「瓦は天然材料を使った自然素材である」ことをご理解いただき、その特性をあらかじめご承知置きください。

- 粘土成分の違いや気圧など気象条件による焼成窯内雰囲気の変化により、微妙な色ムラが発生している場合があります。
- 焼きもの特有の若干のネジレや寸法のバラツキがある場合があります。また瓦は重ね合わせて施工していきますので、葺き上げ後に瓦と瓦の間にスキマが発生することがあります。
- 施工後、日焼けによる色あせやホコリの付着などによる色合いの変化が発生する場合がありますが、屋根材としての品質・性能および耐久性を損なうものではありません。
- 陶器瓦(釉薬瓦)は買入(かんにゅう)と呼ばれる表面亀裂が発生する場合がありますが、これは焼き物製品特有の釉薬表面層に発生する亀裂であり、屋根材としての役割を損なうものではありません。
- 陶器瓦(釉薬瓦)には釉薬にピンホールと呼ばれる小さいへこみや粘土素地の露出が発生する場合があります。釉薬の気泡や粘土に含まれる有機物などが燃焼して発生するものですが、焼きものとして、また屋根材としての品質上の問題は一切ありません。
- 強風雨時等、瓦の隙間から、しぶきが入る恐れがあります。
- 立地条件により、瓦表面にコケ等が発生することがあります。これは瓦の表面層に発生しているものであり、屋根材としての品質や性能を損なうものではありません。
- 切妻部の袖瓦から雨水の水滴が落ちることがあります。これは、野地部に雨水が進入する雨漏りではなく、一般的な現象です。
- 成型後の乾燥から高温焼成時に素地が収縮する事によって粘土が動き、切れが発生する場合がありますが、強度には問題はありません。
- 成型時の金型内で粘土が動き、瓦曲面周辺にシワが発生しますが、漏水や強度には問題ございません。
- 瓦の耐久性を高めるために高温焼成をおこなうと表面は硬く焼結されます。そのため、梱包や輸送時に多少のメカケが混入します。
- 製品は改良のため予告なく変更する場合があります。

近畿セラミック株式会社

本社及び 〒656-2224 兵庫県淡路市大谷881-8
 本社工場 TEL.0799(64)0631(代) FAX.0799(64)0595
 西淡事務所 〒656-0341 兵庫県南あわじ市津井1730
 TEL.0799(38)0311(代) FAX.0799(38)0664

福山営業所 〒729-0114 広島県福山市柳津町4丁目1-24 TEL084(934)7288 FAX084(934)6441
 広島営業所 〒731-0143 広島県広島市安佐南区長楽寺1丁目2番2号 TEL082(878)3715 FAX082(878)3725
 大分営業所 〒870-0018 大分県大分市豊海3丁目8-9 TEL097(532)8163 FAX097(538)4843
 宮崎営業所 〒880-0125 宮崎県宮崎市大字広原4607番6 TEL0985(30)5622 FAX0985(30)5633

■ 特約店